

村の世帯・人口

1968年5月末日現在

総世帯数 1,853戸

男 4,935人

女 4,954人

計 9,889人



当月の人口移動

出生 23 死亡 7

転入 46 転出 45

婚姻 10 離婚 1



はらに報広

発行所
西原村役所
電話 (095) 2401
印刷所
中部印刷 K K
電話 (077) 4464

一、第三回定例会おわる

- 1 六八年度につぐ大型予算
- 2 処理された案件

- 3 六九年度の施政方針のあらまし

- 4 六九年度一般会計歳入歳出予算

- 5 六九年度特別会計歳入歳出予算

- 二、西原村章きまる

- 三、西原の塔しめやかに除幕式

- 四、普及事業実績発表大会から

- 1 はじめに

- 2 ビニールハウスの胡瓜栽培について

- 五、村の話題

- 1 三八号線政府道路簡易舗装

- 2 病害虫の異状発生

- 3 第一回産業展示即売会にぎわう

- 4 戦没者遺族に国庫債券交付

- 5 環境衛生改善協議会

- 6 郵便局に盆栽を寄贈

- 7 老人の健康診査と精密診査

- 8 村育英会に百ドル寄附

- 9 果樹増殖奨励金八〇パーセント交付

- 10 交通標識の設置

- 11 十二脂腸虫の検便

村の世帯・人口

1968年2月末日現在

総世帯数 1,823戸

男 4,932人
女 4,924人
計 9,856人

当月の人口移動

出生 23 死亡 42
転入 46 転出 45
増減 10 増減 1



本報にいわせ

- 十二個課長の発言..... 七
- 交通運輸の発展..... 七
- 果樹贈答奨励金八〇パーセント交付..... 七
- 村育英会に百パーセント..... 七
- 老人の健康調査と精密検査..... 七
- 職員の盆録多寄贈..... 七
- 農業衛生改善協議会..... 七
- 贈答畜産物に国庫券券交付..... 七
- 第一回産業展示販売会にむかひ..... 七
- 肉害虫の異状発生..... 七
- 三八号線改修工事関係員談話..... 七
- 五、村の話題..... 七
- スニールハウスの防虫対策について..... 五
- はじめに..... 四

四、普及事業実行委員会から

三、西原の森しめやか川開幕式

二、西原村章をまゐる

- 六八年度特別会費徴収人徴出予算..... 三
- 六八年度一級会費徴収人徴出予算..... 三
- 六八年度の施設式後のあらまし..... 一
- 処置ちびた案件..... 一
- 六八年度にいう大壁手算..... 一
- 第三回定例議会はひる..... 一

発行所 西原村 電話 (036) 5401
印刷所 中越印刷株式会社
電話 (036) 4164

主 ば ん じ

第三回定例議会おわる

六八年度につぐ大型予算

総額 三一万八千八七三弗

西原村議会第三回定例議会は、去る六月十一日から開会し二十五日まで十五日間で全日程を終了した。

西原村の向う一カ年間の明るい村づくりを推進する予算案が提案され議決された主な歳入款別からみると、待望の庁舎建築もとし九月に落成の予定で市町村交付税をトップに十四万二千五百三、で四四、五五、について村税が七万二千八六四、で二二、八八、ではか八款の歳入予算からなっている。

歳出款別予算からみると、村民の福祉向上および新庁舎の落成に伴なう職員、の資質の向上を図り、もって住民サービスを目標に役所費をトップに十四万九千九十四、で四七、二二、を示し、つづいて西原中学校敷地の購入で起債のため教育費負担金六万七千七百、で一八、三五、を示し、ほか十一款の歳出からなっている。こんどの村長提出の議題はつぎのとおり。

処理された案件

- ① 議案第九号 一九六八年度役所庁舎建築事業費起債変更について (原案可決)
- ② 議案第十号 一九六八年度一般会計才人才出追加更正予算議決について (原案可決)
- ③ 議案第十一号 西原村役所庁舎建築資金積立金条例の廃止について (原案可決)
- ④ 議案第十二号 西原村職員定数条例の一部改正について (原案可決)
- ⑤ 議案第十三号 証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について (原案可決)
- ⑥ 議案第十四号 西原村職員等の旅費に関する条例の一部改正について (原案可決)
- ⑦ 議案第十五号 西原村職員の休日

および休暇に関する条例の全部改正について (原案可決)

⑧ 議案第十六号 西原村職員分限および懲戒に関する条例の制定について (修正可決)

⑨ 議案第十七号 西原村消防団に関する条例の一部改正について (修正可決)

⑩ 議案第十八号 西原村議会事務局設置条例の一部改正について (原案可決)

⑪ 議案第十九号 西原村報酬および費用弁償支給条例の一部改正について (原案可決)

⑫ 議案第二十号 西原村職員給与に関する条例の一部改正について (修正可決)

⑬ 議案第二十一号 西原村税条例の一部改正について (撤回)

⑭ 議案第二十二号 一九六九年度西原村一般会計才人才出予算議決について (修正可決)

⑮ 議案第二十三号 一九六八年度西原村上水道事業特別会計才人才出追加更正予算議決について (原案可決)

⑯ 議案第二十四号 一九六九年度西原村水道事業拡張について (原案可決)

⑰ 議案第二十五号 一九六九年度特別会計水道事業費起債について (原案可決)

⑱ 議案第二十六号 一九六九年度西原村上水道事業特別会計才人才出予算議決について (原案可決)

⑲ 議案第二十七号 一九六八年度西原村教育委員会才人才出追加更正予算議決について (原案可決)

⑳ 議案第二十八号 西原村教育委員会報酬及び費用弁償を定める規則の一部改正について (承認)

㉑ 議案第二十九号 西原区教育委員会給料及び諸手当に関する規則の一部改正について (原案可決)

㉒ 議案第三十号 一九六九年度西原区教育委員会才人才出予算議決について (修正可決)

㉓ 議案第三十一号 一九六九年度中学校敷地購入費起債について (原案可決)

㉔ 議案第三十二号 村有地交換分合について (原案可決)

六九年度の施政方針のあらまし

- …… 西原村長新川崑吉では、六九年度予算議会において、新年度に：
- …… おける基本政策として、産業基盤整備と企業誘致、道路排水の：
- …… 維持管理、水道事業推進、産業経済の振興、環境衛生、青少年：
- …… の健全育成、その他教育文化の向上などがとりあげられ、今後：
- …… の明るい村づくりは議会当局をはじめ、村民皆様の協力が必要：
- …… だとおおよそつぎのような基本方針を明らかにした。 ……



新川 崑 吉 村 長

一九六九年度の施政方針

一九六九年度の当初予算の御審議をお願いするにあたり、施政の一端

を申し述べる機会を得ましたことは私の最も欣快とするところであります。

一九六八年度を顧みまするに、御承知の通り本村においては、多事多難の年でありました。また、反面希望に満ち溢れた最良の年でもあったのでなからうかと思えます。本年の懸案でありました役所庁舎建築が議会当局をはじめ、全村民の御協力により、一月二十三日に着工され、九月の中旬頃には竣工するようになっ

ておりますが地域経済発展の突破口として経済界でも名高い本村出身の金秀鉄工株式会社の出資、これを契機にエッソ、スタンダード（沖繩）株式会社の設置が実現され、本村に一段と明るさと、活気を与えたのであります。

かねてから私は、地方自活発展の基礎は地方財政の自主性を確立することであると申し上げており、また、そのように議会当局が一体となって御努力下さいました賜だと深甚なる感謝を捧げる次第であります。

このようにして大企業が次々と誘致されることにより本村経済開発に大いに役立つものと期待致したのであります。これにより愈々関連産業が伸展し、雇用の拡大と、住民所得の向上に大きくプラスになるものと確信し、村民とともに誠に御同慶に堪えません。

このことは、やがて村財政の確立と豊かな村づくりに一層貢献出来るものと思ひ、今後ますます叡智をしばって全職員が一体となり、住民の奉仕者として最上の努力を傾注致したい所存であります。然し、現実には誠にきびしく、これから多くの難問題が予想され、事業をすればする程、また発展すればするに複雑困難な問題が惹起されることは必至であります。この上は全村民がひと丸みになって協力態勢を整え、諸問題解決にあたり、変転する社会状況に対処せねばならないと思つています。以上の観点から次のことを重点施策とします。

① 産業基盤整備と企業誘致

極めて資源の乏しい本村に於いては、企業誘致による産業振興と、これに対応すべく産業基盤の整備が必然的に考えられる問題だと思ひます。将来、大企業の進出を想定し、その地域がどう変わるか、或いはどう変わらねばならないかを十二分に検討し、総合的な地域開発計画を策定せねばなりません。

本村では六八年度に於いて綜合土木に委託し、道路排水面を主体とした、住宅地帯、緑地帯、霊園、学校関係等の概要計画を策定したのでありますが、これを基礎に更に検討を加え、立派な計画を策定することが

急務であり、おそくとも一九七一年を目途にその計画が実現すべく政府当局へも積極的に働きかける積りであります。

東部一帯の耕地は本村耕地面積の約三分の一を占め、本村経済面に大きく影響しているが、余りにも巨大で財源面からも困難ではあるが、一年次計画により住民の協力態勢を強化し、一日も早く復活させなければなりません。この地域を開発することによって、その上域（呉屋、津花波、小橋川）の排水面が自ら解決され、土地の高度利用にも役立つものと考へ、その面への努力を致したい

② 道路排水の維持管理

道路排水の良好なる維持管理については、村民への道路愛護の思想を昂めると共によりよい良い維持管理につとめたい。永年の懸案でありました三八号線の舗装については、これまで議会当局の再度の要請と関係地域住民の三八号道路舗装実現協議会の協力なるバックアップにより実現したことは、環境衛生上極めて喜ぶべきことであります。

③ 水道事業の推進

一九六七年度から実施致しました水道事業は当初中部製糖、西原温泉等の事業場のみ給水し、六八年度から各家庭への給水工事が着手されたのであります。当初計画通り年次の全村給水を目標に今後とも努力致したい、清潔で衛生的な水を給水することは、村民の保健上また、伝染病の予防にも大きく役立つものと考へ、一層努力したい。

④ 産業経済振興

本村産業の大部分を占めている農業の振興につきましては、甘蔗作一辺倒より多角化に移行し、地理的条件を高度に利用した選択的拡大と生産意欲の高昂につとめるべくビニールハウスの奨励と季節外菜栽培による農家収益の増加に一層努力し、特に農家個々の自主的経営を重点に取り組んで行きたい。農林省の発表

した「沖繩農業の実態と問題点」より見ますに、沖繩農業を日本農業の一環として位置づけ、本土農政と軌を一にして推進すべきである。このためには、日本政府は沖繩に対して積極的に少なくとも本土府県に對

して財政援助水準なみに行なわなければならぬと云われている。沖繩でも最近、農業基本法を制定するように聞いているが、これも財源の裏付けなくしては、真の農業振興はあり得ないと思う。

本村の基幹作目であるさとうきびについては、御承知のように、沖繩の自然的条件に適し換金性が高く、その上これにかわるべく作物が他にないとなれば今後においても本土の保護処置が強く要求される。反面農家はもとより政府においても、その栽培技術の改善、地力の維持増進、病害虫防除等各面の指導と、生産性の向上に努めなければ村経済にも大きく影響されることとしよう。

以上の考え方からして、より良い啓蒙指導を充実させるために新年度において経済課職員を一人増員して農家の生産意欲の昂揚に努めたい。一番むづかしい農政をいくらかでも他産業との格差をちぎるには、今後とも農業委員会の活用により充実に共に、畜産面の振興による地力の維持なども考へたい。

⑤ 環境衛生について

本村において最も重要な問題として煤塵の問題、汚物処理の問題等があり、とりわけ永年悩まづけてきた煤煙問題も煤煙防止対策協議会の積極的な折衝と会社側の誠意と努力により今年製糖から解決されました。汚物処理についても各業者も指定し、その処理方につとめて参りましたが、まだその域に達していないことは残念に思ひます。今後とも充分検討を重ね、地域住民の積極的な協力をお願い申し上げ、住み良い村づくりにしたい所存であります。

その他、教育文化の向上についても直接間接に財源のワク内で村民とともに一層の御協力を申上げ、村振興発展に一意誠意と努力を傾注致したい所存であります。今後とも村民各位の一層の御指導と御協力を伏しお願い申し上げます。

終るにあたり、これまで議会当局はじめ、村民各位の絶大なる御協力に深く感謝を申上げ、一九六九年度の施政と致します。

一九六八年六月十一日

西原村長 新川 崔 吉

1969年度西原村水道事業
特別会計 才入 才出予算

1969年度西原村才入才出予算書

才 出

款 項	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較 増 減
1 水道事業費	8,181	3,882	4,299
1 営業費用	7,635	3,881	
2 営業費用	546	1	
2 建設改良費	19,302	14,150	
1 水道改良費	19,302	14,150	
3 予備費	208	167	
1 予備費	208	167	
4 償還金	0	5,455	— 5,455
才出合計	27,691	23,654	4,037

才 入

款 項	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較 増 減
1 水道事業収益	9,290	7,046	2,244
1 営業収益	9,278	7,043	
2 営業外収益	12	3	
2 資本収入	18,401	16,608	1,793
1 資本収入	9,000	16,605	7,605
2 その他の 資本収入	9,401	3	
才入合計	27,691	23,654	4,037

才 入

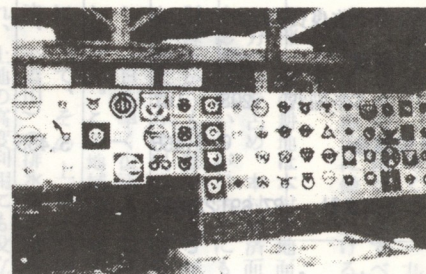
款 別	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		総予算に 対する 百分比
			増	減	
1 村 税	72,864	63,639	9,225		22.85
2 市町村交付税	142,053	102,113	39,940		44.55
3 公営企業及び 財産収入	6,690	994	5,696		2.10
4 使用料及び 手数料	2,378	2,008	370		0.75
5 政府支出金	9,538	4,496	5,042		2.99
6 寄 附 金	925	393	532		0.29
7 繰 入 金	1	11,542		11,541	
8 繰 越 金	23,735	4,500	19,285		7.46
9 雑 収 入	663	2,434		1,771	0.21
10 村 債	59,976	140,000		80,024	18.80
計	318,873	332,119		13,246	100

才 出

款 別	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		総予算に 対する 百分比
			増	減	
1 議 会 費	17,671	12,978	4,693		5.51
2 役 所 費	149,914	220,564		70,650	47.22
3 消 防 費	763	527	436		0.29
4 土 木 費	23,577	23,365	212		7.39
5 社会及び労働 施設費	7,396	3,781	3,615		2.32
6 保健衛生費	742	587	155		0.23
7 産業経済費	10,865	9,025	1,840		3.41
8 財 産 費	39	458		399	0.01
9 選 挙 費	1,629	400	1,229		0.51
10 公 債 費	23,857	1,294	22,143		7.48
11 諸 支 出 金	17,129	14,536	2,593		5.37
12 教育費負担金	61,700	42,000	19,700		18.35
13 予 備 費	3,411	2,624	787		1.07
計	318,873	332,119		13,246	1.00



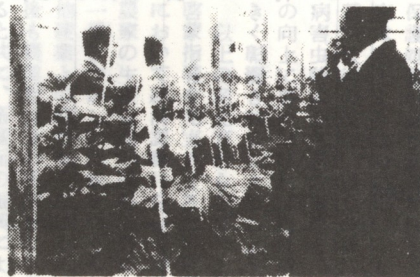
(西原村章に当選した長沢さんの図案)



図案審査の展示場

農業改善体験 実績発表から

68年度中部地区
普及事業発表会



中谷さんのキウリ栽培ハウス

「西原村章」きまる

岩手県の長沢さんが当選

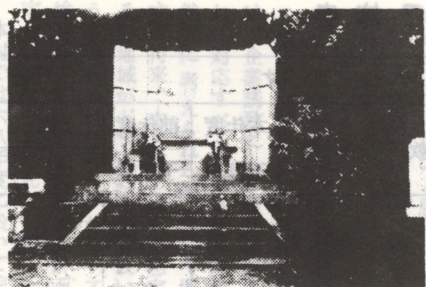
西原村（通称「吉村」）は、さる六月八日午後一時から村会議室で村章図案審査を開いた。

今年八月没前新庁舎落成記念として企画され、さる三月村章図案募集を新聞広告したので、四月三十日消印有効。神籬をはじめ本庄から五五名の応募者二百三十五点あつまつた。当日は審査員として没前三役、課長、議事主任委員、副議長、各団团长、美南担当の専門教員（村

内）など二十五名によって審査した結果、岩手県盛岡市神明町五の十にお住いの長沢知子さん（21才）が一二五点のうちから選ばれた。長沢さんには応募要綱によって賞金三拾円を送った。

「この図案は村名の頭文字の「西」を図案化し、門は村民の融和団結、翼は村勢の確飛発展の姿を表現、輝く西原村の将来を簡明に力強く象徴している。

「西原の塔」しめやかに除幕式



西原の塔

でしめやかに行なわれた。

新川岩吉村長、淵上房太郎南方同胞援護会副会長、金城和信神籬遺族連合会長、平良幸市立法院議員のほか、村内外の遺族およそ百人が参列した。

この日は、朝から小雨の中で三好護国神社宮司のノリトがあつたあと淵上南援副会長、新川村長の手で除幕された。

引き続き金城神籬遺族連合会長ら関係者の玉串奉興があつて英霊のめい福を祈った。

同塔はさる一九五五年七月、西原村慰霊塔として建立されたが、その後、老朽化していたのを、さる三月日政援助で修復、善太郎組（新垣善太郎社長）の請負いでこのほど完成。名前も「西原の塔」と改められた。

はじめに

昔の農業は朝暗いうちに起きて、家畜用のまぐさを刈ってきてから朝食、晩は暗くて仕事ができなくなるぎりぎりまで畑にいた。毎日その繰り返しであつた。それかいまはどうだろうか、若者は都市地区へ流れ、三ちやん農業の形態になつていのが農村の現状である。

しかし現代では牛馬のようにわき目もふらず、ただ働くだけでは通用しない、求めるのはより人間的な生活であるが、しかし、その基本となる勤労意欲という点では先輩に見習わねばならないといえさうである。現在は農業の近代化だとか、合理化だとかよく叫ばれているが、農業改善は経営の合理化、科学化、品種の改良、土壌の改良、防除の活用など改善され、こんど中部地区六八年度農生改休験実績発表会に体験談を基手前農研クラブの中谷善盛さんの体験発表の一端からひろってみよう。

満洲事変、第二次大戦、戦死した村内外中人軍属ならびに一般住民の英霊、二千余柱を祭る「西原の塔」の除幕式と慰霊祭が、さる五月二十七日午前十一時から午前十二時の同塔前

作業日数 計46日

内 訳：ハウス組立15日 追肥8回 16時間、薬剤散布21回

42時間、かん水15回 30時間（計88時間）

その他の作業日数約20日

第三表 （実績の二）

期別	1967年～1968年			
項目	収	入	項目	支
生産高	1,356.6kg		ビニール費 ヒモ代	\$ 38.50
金額	\$ 568.64		種子代	\$ 1.50
			肥料代	\$ 19.50
			農薬代	\$ 6.50
計	\$ 568.64		計	\$ 66.00

差引 \$502.64 坪当り9\$31¢

作業日数 計40日

内 訳：ビニール張り3.5日 追肥12回 24時間、

薬剤散布32回 64時間、かん水18回36時間

（計124時間）その他の作業約21日

第一表 栽培方法

期別	1966年～1967年	1967年～1968年
設置面積	1.8アール	1.8アール
栽培距離	畦巾90 ^{cm} 株間36×60 ^{cm}	畦巾90 ^{cm} 株間39×60 ^{cm}
植件本数	640本	624本
品 種	長日落合2号	長日落合2号
播種月日	1966年12月23日直播	1967年11月13日鉢播
植付月日		1967年12月4日
収穫	自1967年3月7日 至1967年4月27日	自1968年2月2日 至1968年5月21日

第二表 （実績の一）

期別	1966年～1967年			
項目	収	入	項目	支
生産高	1,024.2 kg		施設代	\$ 347.50
金額	\$ 360.48		種子代	\$ 1.50
村補助金	\$ 150.00		肥料代	\$ 15.00
			農薬代	\$ 8.10
計	\$ 510.48		計	\$ 372.10

差引 138\$38¢ 坪当り 2\$56¢

ビニールハウスの
胡瓜栽培について西原村宇嘉手菊十一番地
富手菊農研クラブ員 中谷 善盛

みなさん今日は、たまたまご紹介になりました西原村宇嘉手菊農研クラブ員の中谷であります。本日の中部地区普及事業実績発表会において、私の実績発表をする機会を与えてくださいまして厚く御礼申し上げます。ハウス栽培について、私以上に豊富な経験と実績をあげられた権威者も多数おられると思いますが、先づ未熟ながら胡瓜のハウス栽培の体験を

発表させていただきます。

私の家族構成は私達夫婦と子供五名の七人家族で、可働者は私達夫婦だけであります。耕地面積は四〇アールで、うち甘蔗作が二七アール、野菜が一三アールの零細な経営規模であります。

製糖期には製糖工場の労務に出て、生計を維持するありさまの兼業農家で、不安定な過去でありましたが、幸い農研クラブに加入して技術の研修、情報の交換、先進地の視察や関係方面からの普及指導によりまして一応の知識と実践力に自信がもてるようになり、野菜栽培の収入の増加

に伴って家庭経済苦も解消されつつある段階にあります。私がハウスを取り入れるようになった動機はこれからの農業は小面積から多くの収入が得られる野菜栽培を組み合わせた農業経営でなければならぬと思っているやさき、村当局でビニールハウスに補助金を出して増産奨励するようになったので心強くなり、ただちに実行することができました。

そこで私のビニールハウス栽培実績を去年と今年の二カ年分を図表で説明いたします。

ただ今説明申しあげましたとおり、新しく施設を取り入れた野菜作りの結果から儲かることが出来たと私は思っています。この経営は増収することにはしますが、技術と忍耐が必要であることは申しあげるまでもありません。私達クラブ員はハウス組立、ビニール張りの如き人手のかかるのは共同で行なっています。又肥培管理や病害虫防除など細い作業については連絡を密にして互に話し合い、自分達で解決が出来ない場合は農改普及員又は技術指導員の方々に教えをもとめて居ります。今後の野菜作りは一つでも多く新しい技術を取り入れていくと共にクラブ員の相互研究を進めて行くことが大切だと思っています。ハウスのキウリ栽培法として、育苗は鉢育苗とし、本葉二、三枚の時に定植し育苗中は病害虫の防除に努め健全苗の育成に苦心しました。定植後の病害虫発生に注意して初期防除に努力し、多量施肥をさき、肥料効果を高めるため分施肥を行ないました。

かん水は常に適当な湿度が保てるように十日～十五日おきぐらいに適宜行ない、できるだけ地温を上げないように天気の良い日の十時から十二時頃に努めました。毎日の作業で最も適当な湿度と湿気を保つということでもあります。私の場合は温度二〇～二五、湿度は六〇～六五%になるように努めました。

湿度の高い場合には温度とは関係なくビニールを開いて換気をはかり、温度がさがった場合には保温に努めました。

以上申し上げたのが私の実績であります。私は今後冬物は果菜類を研

究して栽培し、夏はカンレイシャを張ってハウスの利用度を高めて野菜作りを続けて行きたいと思っています。何分の皆さんのご指導をお願いいたしまして私の発表を終わらせていただきます。

(村の話)(題)

建設



(13号線起点からながめた38号線)

政府道路38号線 簡易舗装

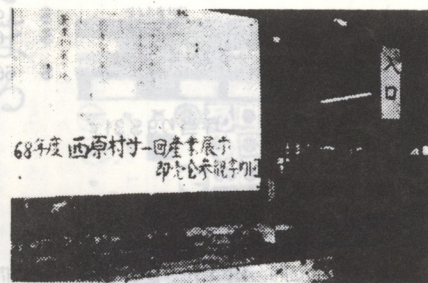
西原村中央部を貫通する政府道路三八号線は、十三号線を起点とし、五号線に結び延長三、三六〇メートルで近隣都市への重要基幹道路として利用され、これまで二十年余り道路沿いの関係部落は砂煙りで悩まされていたが、去る四月五日から建設局予算三万一千八百円で完成した。本工事完成によって関係近隣をはじめ一般村民が喜んでいる。

防除

病害虫の異状発生

西原村千原区のだ田原に去る五月上旬からきび病害虫(アヲヨタウ)が異状発生、村経済課では普天間朝光区長から被害報告があったので早速現地調査した結果、被害面積三千坪におよんでいる。この虫は昼間は影にかくれ、夜に出て全部葉を喰いつぶし竹だけ残すという新しい害虫、村経済課では自動噴霧機二台を出動し防除した。この害虫は防除一回では全滅しない害虫で二回も共同防除した。

産業



(第一回産展の案内図)

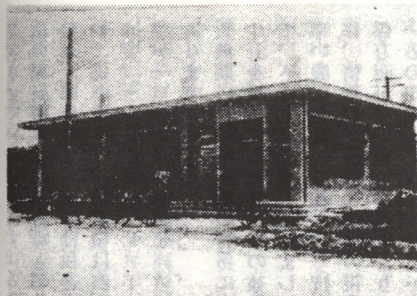
第一回産業展示 即売会おわる

西原村第一回産業展示即売会は、去る五月十九日村役所で催された。農産物一三九点、手芸加工品二七六点の展示、展示品は村内の農生改団体が中心となり村民一般の参観でにぎわった。午後三時から褒賞授与式を行い葉菜五点、根菜八点、果菜一四点、農産加工七点、手芸八点、装飾品六点、計四八点の入賞者に賞状と賞品を贈り、出品者全参加賞を贈り、一般農家の生産意欲を高めた。

国債

戦没者遺族に 国庫債券交付

西原村住民課援護係では、これまで関係遺族から二、〇五三件の特別弔慰金請求を推進していたがこのほど



西原郵便局全景

衛生

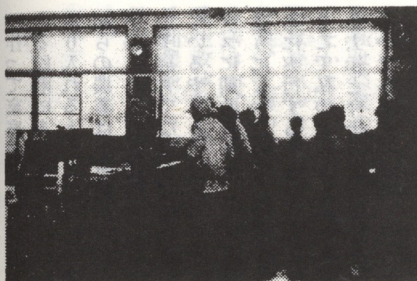
環境衛生改善協議会

西原村環境衛生係では、去る六月一日村役所会議室で区長、婦人支部長、業者などを集め環境衛生改善協議会を開催した。村には保健衛生の向上を図るため条例や規定もあるが現在も川や空屋敷などにチリを捨てることが多く、その問題を協議会に取りあげた結果、六月から月三回指定業者が各区にまわりチリを収集するが料金として一戸当り月額十五仙を徴収することを協議した。

寄贈

新局舎に盆栽を寄贈

西原村遺族会婦人部(金城澄部長)は、さる四月に落成した西原郵便局新局舎を訪れ、観賞用として南洋杉鉢植と、外に机上用盆栽を新局舎の落成記念として寄贈、金城部長は「これまで援護金支払業務開始以来十六カ年間全遺族がお世話になった」と語り……大浜寛良局長をはじめ、局職員一同に深い感銘を与え、現在恩給、年金支払中である多忙な局入口に飾られ、村民遺族の目をとめている。



西原郵便局の窓口

健康

老人の健康診査と精密診査

西原村住民課では、一九六八年度の老人福祉対策の一環として六五才以上の方々を五月上旬から二週間にわたって健康診査を行なった。
今回は五八七人のうち、三二六人が与那原町の島尻、野原、横井の各医院および中城診療所に指定診察を実施した結果、八三人が精密診査をうける必要があるとわかったので引続きその診査を実施した。
その診査費用は政府と村が負担することになっているが、指定医と相談してその結果を本人に通知することになった。

育英

村育英会に百ドル寄附

安室出身で現在、岐阜県各務原市蘇緑町四の二五にお住いの徳村繁雄（旧姓与那城茂雄）さんは、昭和のはじめ頃本土へ渡り日本政府郵政省につとめ、このほど停年退職し、四三年ぶりに郷土訪問で村育英会にたいし「子弟育成のため役立てて下さい」と新川西原村育英会長に金百ドルを寄附。

補助

果樹増殖奨励金
八〇%を交付

西原村では、五七年度に果樹増殖奨励補助金交付規定を従来の五〇%以内を八〇%以内に改正し、前年度は今帰仁村からレイシ二一五本を導入し、一本当り八〇%でその価額の八〇%を補助金として交付、森川、棚原、小波津の三部落が植付、今年度も引続き年次計画で農家の換金策の一環として補助政策をたてている

交通

交通標識の設置

警本交通課は、西原村我謝入口から

衛生

十二指腸虫の検便

西原村住民課衛生係は、寄生虫のいない健康な村づくりのため村内八〇一名を対象に検便を行った。
その結果一七%にあたる一三六名が十二指腸虫を保有していることがわかったので、コザ保健所から新駆除剤（オーミン）を取り寄せて無償配布したが、これまでに検便を受けていない方は今後検便のときは、ぜひ受けて明るい健康な村づくりに協力するよう村係では呼びかけている。



婚姻 15 離婚 0

